



平成 30 年 3 月 8 日
独立行政法人国立科学博物館

日本初、DNA情報に基づいて作成された縄文時代人復顔像 を公開します

国立科学博物館(館長:林良博)と金沢大学、山梨大学、国立遺伝学研究所は共同で、約3800年前の縄文時代人の全ゲノム解析を行い、現代人と同じレベルで解析されたDNA情報から、顔の表現型に関する遺伝子情報に基づいた縄文時代人女性の復顔像を作成する作業を続けてきました。このたび作業が完了しましたので、下記のとおりプレス発表会を行います。

過去に生きていた人の風貌を再現するため、これまでは発掘された人骨をベースとし、そこに現代人の特徴を付け加える方法がとられてきました。この方法では、昔生きていた人の骨に現代人の平均的な顔を張り付けるようなもので、その人物の本当の顔つきを再現できているかは不明でした。今回、国立科学博物館、金沢大学、山梨大学、国立遺伝学研究所は共同で約3800年前の縄文時代人骨「船泊23号」の全ゲノム配列を高精度で決定し、顔の表現型に関する遺伝子の解析に成功しました。そこで、その人物が持つ顔の遺伝子情報から復顔像を作成するという、日本初の試みを行い、このたび復顔像が完成しました。この復顔像を当館の特別展「人体—神秘への挑戦—」(3月13日(火)~6月17日(日)、東京・上野)で一般公開いたします。

つきましては、一般公開に先立ち、下記のとおりプレス発表会を実施いたしますので、事前に「プレス発表会問合せ先」へご一報の上、ご参加くださいますようお願いいたします。

記

【会 場】 国立科学博物館(台東区上野公園7-20) 日本館4階 大会議室

【開催日時】 平成30年3月12日(月)午前10時より (受付開始 午前9時30分より)

【受付場所】 国立科学博物館 事務棟入口 ※通用門からお入りください。

〈交通のご案内〉 JR上野駅公園口から徒歩5分、東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅から徒歩10分、京成電鉄上野駅から徒歩10分 ※駐車場の用意はございません。

プレス発表会問合せ先
独立行政法人 国立科学博物館
経営管理部 研究推進・管理課
研究活動広報担当: 稲葉 祐一
〒305-0005 茨城県つくば市天久保4-1-1
TEL: 029-853-8984 FAX: 029-853-8998
E-mail: t-shuzai@kahaku.go.jp

